

2026 年 7 月 23 日

学校法人瓜生山学園
京都芸術大学総務課

京都芸術大学 康耀堂美術館契約職員(学芸員)の募集について

京都芸術大学は、「芸術と哲学によって、新しい人間観、世界観の創造を目指す」という建学理念のもと、「人間力」と「創造力」を育み、特色ある教育手法と社会連携による実践的な学びによって、新たな価値を社会に発信し続けることのできる自立した人材の育成をはかっています。

この度本学では蓼科高原の入口、6 千坪の森の中に佇む康耀堂美術館の職員を募集します。
康耀堂美術館は佐鳥電機株式会社前会長が蒐集したコレクションを基に開館し、佐鳥初代館長ご逝去の後、京都芸術大学に寄贈され、2006 年 4 月より千住博館長のもと大学附属美術館として運営しています。

- 1.募集職種 事務局員(学芸員)
- 2.雇用形態 契約職員
- 3.職務内容 美術館の運営に係る諸実務を担当、学芸員業務にも携わる
- 4.勤務地・配属先 京都芸術大学附属 康耀堂美術館
〒391-0213 長野県茅野市豊平 4734-215
- 5.募集人数 1 名
- 6.応募資格
 - ①大卒以上(短大卒で学士の資格を有する方も可)
 - ②本学の建学理念に賛同していただける方
 - ③学芸員資格をお持ちの方 ※取得見込み者可
 - ⑤基本的な PC スキルを有し事務処理ソフト(Word、Excel)の基本操作が行えること
 - ⑥その他、必須ではありませんが Adobe Illustrator、Photoshop の基本操作が行える方を歓迎します
- 7.応募方法 下記、＜応募書類＞①～③一式を、Web 専用フォームへ PDF データにてご提出ください
応募締切日、応募書類提出先は、以下 8.および 13.をご参照ください

＜応募書類＞
 - ①職員採用エントリーシート(履歴書)
 - * 必ず、下記の指定書式「職員採用エントリーシート」を使用してください
 - pdf 版 https://www.kyoto-art.ac.jp/_files/Recruit/files/2027koyodoentry.pdf
 - word 版 https://www.kyoto-art.ac.jp/_files/Recruit/files/2027koyodoentry.docx
 - 指定書式[A4 サイズ×2 枚]、写真貼付の上、ファイル形式:PDF、ファイル容量:2MB まで
 - ②職務経歴書(自由書式)
 - * 指定書式なし、A4 サイズ(用紙方向[縦置き]、書字方向[横書き])を使用し作成
 - * 新卒で職務経歴が無い場合は不要
 - ③志望理由書(800 字程度)
 - * 指定書式なし、A4 サイズ(用紙方向[縦置き]、書字方向[横書き])を使用し作成
 - ※応募の秘密は厳守します
 - ※応募書類は返却いたしませんので予めご了承ください
 - ※応募にあたってご提出いただいた個人情報とは本学規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外には使用しません
- 8.応募締切 2026 年 10 月 13 日(火)13:00【必着】締切

- 9.選考プロセス 応募締切日以降、以下の選考プロセスにしたがって進めていきます
書類選考は応募締切日以降に行います(結果通知は2026年10月19日(月)以降予定)。
* 応募・選考に関わるご連絡はエントリーシートに記載された e-mail アドレス宛に行います。
記載漏れ、間違いのないよう記載してください。書面郵送での通知は行いません。
【step1】書類選考 2026年10月14日(水)～10月19日(月)
【step2】面接選考 2026年10月27日(火)
【内定】
※選考日程は変更になる場合があります

10.採用日 2027年4月1日付

11.条件	給与	月額 254,000 円
	諸手当	住宅手当 月額 15,000 円(世帯主のみ) 家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円(被扶養者のみ) (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円 (被扶養者のみ) 通勤手当 6 ヶ月定期代 年 2 回支給(限度額/月額 35,000 円) 超勤手当 有
	賞与	年 2 回(6 月・12 月*2026 年度実績)
	勤務時間	9 時 30 分～17 時 30 分(実働 7 時間 00 分) *業務により勤務形態(曜日、時間等)の変動あり *時差勤務や超過勤務の場合もあります
	休日・休暇	1 年単位の変形労働時間制(美術館閉館時期は土日休、開館時期は月曜休) 国民の祝日*祝日出勤の場合は振替休日を取得 特別休暇 8 日/年(前年度末、契約職員として在職している者に当該年 4/1 付与) 年末年始休暇 有給休暇 有(初年次 10 日/年) 育児休業および介護休業制度有、慶弔休暇有 ※年間休日数 99 日(有給休暇、特別休暇含めず)
	退職金	なし
	その他	私学共済(健保・年金加入)、雇用保険および労災保険、健康診断の実施、 私学共済の契約施設の利用(直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用 割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等)、学費減免制度(藝術学 舎(京都、大阪、東京)、京都芸術大学通信教育課程等)

- 12.契約期間 2027年4月1日～2028年3月31日
※試用期間 3 ヶ月あり(試用期間における労働条件も上記 11.と同様)
※契約更新は、業務実績等に応じて双方合意の上、年度単位で行い、原則 2 回まで可能

- 13.応募宛先 応募書類データを、以下 Web 専用フォームよりご提出ください。

『康耀堂美術館契約職員応募書類ファイル提出フォーム』
<https://req.qubo.jp/uriuri/form/2027koyodo>

※Web 専用フォームより提出できない場合は採用担当までご連絡ください。

- 14.問い合わせ先 電話 TEL 075-791-8301/総務課(平日 9:00～17:30)
e-mail: jinji@office.kyoto-art.ac.jp

◆建学理念、中長期計画に関わる資料

『瓜生山学園 Vision 2026(瓜生山学園中期計画)』<https://www.kyoto-art.ac.jp/info/pdf/vision2026.pdf>
『京都芸術大学/グランドデザイン 2030』<http://www.kyoto-art.ac.jp/info/pdf/granddesign2030.pdf>
『京都文藝復興』<http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>
『藝術立国』<http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>
『通信による芸術教育の開学にあたって』<http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/tsushin.pdf>
『まだ見ぬわかものたちに』<http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/young.pdf>

【法人情報】

法人名	学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 http://www.kyoto-art.ac.jp/ 京都芸術デザイン専門学校 https://kid.ac.jp/ 京都文化日本語学校 http://www.kicl.ac.jp/jp/ 京都芸術大学附属高等学校 http://shs.kyoto-art.ac.jp/ 認可保育園 こども芸術大学 http://www.kodomo-art-ac.jp/
設立	1977 年
代表者	理事長 徳山豊
従業員数	671 名(職員 246 名、教員 425 名)2026 年 5 月 1 日現在 職員内訳 1.専任職員[正社員]137 名[男性 46、女性 91] 2.契約職員[事務職員(一般職)]61 名[男性 12、女性 49] 3.契約職員[副手・技術員(技能職)]47 名[男性 13、女性 34] ※今回募集の契約職員は、上記 2.に該当します
事業所	◎法人事務局/京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116 ◎キャンパス/瓜生山(京都市左京区)、東京外苑キャンパス(港区北青山)、 大阪サテライトキャンパス(大阪市北区) ◎海外事務所/ソウル事務所(韓国)、台北事務所(台湾)、上海事務所(中国) ◎姉妹校/東北芸術工科大学 ◎国際学生交流協定締結校/弘益大学校(ソウル)、国立台北芸術大学(台北)、 ウィーン美術アカデミー(ウィーン)、ボーンマス芸術大学(ボーンマス)等、13 カ国 22 校
事業内容	京都芸術大学をはじめとする教育・研究に関わる諸事業。 1977 年に短期大学を開設以降、大学、大学院をはじめ、 1998 年には日本初の芸術系 4 年制通信教育部、 2013 年にはインターネットでの学びに特化した芸術教養学科を設置するなど、『芸術立国』の建学理 念に基づき、学園の使命および将来構想を明確にし、たゆまぬ革新と成長を続けています。 2013 年京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校と法人合併 2019 年 4 月 1 日 京都芸術大学附属高等学校(広域通信制課程[単位制]普通科、 認可保育園こども芸術大学を開設 2020 年 4 月 1 日「京都造形芸術大学」から「京都芸術大学」に名称変更 2026 年 4 月 1 日 認可保育園守山こども芸術大学を開設 ※各設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上をはか っています

以上